

国会議員、衆院候補が奔走 東海ブロック3議席、中間選挙で勝利を

各地で行われている新春のつどいに、党国会議員、衆院候補が参加、総選挙と今年前半に予定される中間選挙での勝利を訴えました。また12日告示される岐阜県知事選挙の支援にも入りました。

岐阜県知事選挙は12日告示されました(29日投票)。

知事選には高木光弘氏(57歳、党県常任委員)が「県民が主人公の岐阜県政をつくる会」の推薦(無所属)で立候補し、「国の悪政に対してノーと言う知事になり、県民の命と暮らしを守りたい」と訴えます。

しまづ幸広衆院議員が8日に大垣市の党のつどいに参加、9日は高山市、飛騨市、下呂市で、高木候補と一緒に街頭から訴えました。

21日には、井上哲士参院議員、もとむら伸子衆院議員が応援に入ります。



国会議員が各地のつどいに参加

▼もとむら伸子衆院議員 8日、静岡市決起集会、9日、静岡県菊川市演説会

▼しまづ幸広衆院議員 5日、伊賀

鈴鹿市長、四日市市副市長と懇談・三重しまづ、中野候補

しまづ幸広衆院議員は6日、三重県鈴鹿市、四日市市を訪問し、鈴鹿市の末松則子市長、四日市市の塚田博、藤井信雄両副市長と懇談しました。鈴鹿市では、中野たけし衆院比例候補(三重2区重複)、石田秀三、森川ヤスエ、橋詰圭一の各市議、四日市市では山本りか県議、加藤清助市議も同席しました。

末松市長は、市独自に中学校給食の実施や来年度から3歳児までの子どもの医療費窓口無料を行うことを紹介しました。しまづ議員は「安倍政権は地方創生というがそれぞれの地方自治体にあった運営を行うことが大切です」と応じました。

また、末松市長は、自民党の農業

政策について、地方は農協に支えられており、農協解体を地方は望んでいないと強調しました。

さらに、国から個々の部署に子育てや福祉の改編の話が一方的に来て、財源がばらまかれると述べ、「自治体にきちんと仕事をさせてほしい」と話しました。しまづ議員が「野党連合政権ができれば解消したい」と話すと、末松市長は「お願いします」とこやかに話しました。

しまづ議員は、中野候補が生まれも育ちも同市であることを紹介し、比例東海ブロックでの3人当選の決意を述べました。中野候補は、市長に党大会決議案を手渡しました。



末松市長(左端)と懇談するしまづ(左2人目)、中野(手前中央)候補ら=6日、鈴鹿市